横綱朝青龍が引退

泥酔暴行問題で
優勝25度、史上3位

大相撲初場所中に知人男性に暴行したとされる横綱朝青龍関（29）＝本名ドルゴルスレン・ダグワドルジ、モンゴル出身、高砂部屋＝が４日、引退を表明、受理された。高砂親方（元大関朝潮）とともに理事会に呼び出された朝青龍関は事情聴取後、報道陣に「いろいろお世話になりました。引退します」と話した。

朝青龍関は１月16日未明、泥酔して知人の男性に暴力をふるったとされる。当初、相手は朝青龍関の個人マネジャーとされ、相撲協会の武蔵川理事長（元横綱三重ノ海）から厳重注意を受けたが、後に別の一般人男性が警察に被害相談をしていたことが判明した。協会は調査委員会を設置して独自に関係者を聴取。４日の理事会は当初は同委員会の中間報告だけの予定だったが、急きょ横綱本人と師匠を呼び出し事情を聴いた。

モンゴル力士で初の横綱になり、幕内優勝25度は史上３位。２００７年には巡業を休みモンゴルでサッカーに興じ、出場停止処分となるなど問題行動も多かった。

詳細は朝刊で

日本相撲協会の理事会への召喚を終えた横綱朝青龍関＝4日午後1時38分、東京・両国国技館

東奥日報
〒030-0180
青森市第二問屋町３丁目１番89号
東奥日報社
電話 017-739-1111
(C)東奥日報社 2010

インターネット号外

購読のご案内
お問い合わせは
東奥日報社読者局
0120-46-5939（ヨム コウドクサンキュー）
24時間受付

(C)2010 THE TO-O NIPPO　http://www.toonippo.co.jp/